~自衛官募集

令和4年1月7日発行



びま

っても、

ワ

ク

チン

接

種

 \mathcal{O}

普 に

及

及

がたく化たき携コ、ま力種頃 是めなに。にとロ統すを業か

して

いるところ

あ

ŋ

ま

す

講遂本が

ま協る感し力中染

中

力を賜

1)

た。

口

ナウ

ス

更 年

父なる高

4 地

を目

指

す 65

意

を を

治

療薬

 \mathcal{O}

開

によ

り

新

な段

階

がに

きており

初 発

日

 \mathcal{O}

出

 \mathcal{O}

<

希

て申すご標境少ん、講良しの支をは子で楽じ

しこき上で援達一・参しつの長 ごと年げ引ご成層高りくつ下を

丸 務

いって、

明るく

ざ前

向

きに

取

n

んで

, \

<

所

存

でご

皆い

お

カン

L

て

ŧ

なり

ます

ようご れま

心申し上げ 幸多き

げー

ます

良しの支をは子で楽じ一部とき上で援達一・参しつの長う

業

を任む

務

L

援護 衛

%完遂を目指し 飛職援護・予禁

自

官

等

本

見えてきたように

思え

ま 如 た

本

年も

変わ す。 プロジェクト

11

ま

す

年

明

け

ま

ておめでとうござ

け

ま

ておめでとうご

ござ

新

年

あ

け

ましておめでとうござ

年頭の挨拶

ます

年頭の挨拶

副本部長

年 頭

の挨拶

昨

は

佐

賀

本

創

立.

周

年

ま力種頃す年

理い

染昨年

を型

て業務を満

進ス

めの

口

皆止は、

|様から

^こありがとうございら多大なるご支援ご!

第25号 発 行 所 自衛隊佐賀地方協力本部 募集課広報室

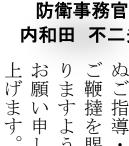


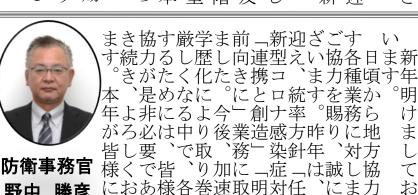
不二夫

りますよう 賜

ぬご 鞭

願 11 申





防衛事務官 におあ様各巻速取明対任 と願り方種くすりる策務古あし本ついまの目環る組くを完賀りて部

防衛事務官

拶とさせて

がただきまがたださせて

新 念

の挨拶

りい支今り達様それよ減ク代拡後昨ま新 ま申援後が成ののるう少チ表大、年 しし・とと見応よ年ととンさか新は て上ごもう込援う明す、接れら型、 素げ協、ごみもなける暗種る新コ東 晴ま力自ざとあ中を、いの国たロ京らすの衛いなり、迎明ト推民なナ五

1等陸佐

念

准陸尉

う

お

古賀

博彦

申勝後

さ、幸様まなか。

健最い

申

こ 多皆ま よけま

のう

鞭

を賜

り す

す

お

本の意情充

2等陸佐 大二郎

田村 ま拶新申よす年年よ集 すと年しり



ご支 皆て年け染 様いは 申援 引き続と考え をかずコ 上 力 に を 0 口 て動て様ナおのい々ウ 皆様 げ り とご多 ま より り 1 新お 範まな ますのり一層を広い لح 年祈 ま囲 \mathcal{O} し制ル さ (J) (V) 約ス

上新 つが昨りまげ年皆ま新 ま を様 年 おに 明 迎お えか のれ ことと おは 喜輝 びか 申し

礼年 は 上格 配 を しい

をの

とのが勤わるの

顔し

予でたらな備一隊が時

感で自般員笑期将の を国衛社た顔に来自 感民官会ちで関あ覚

すのが

で

あう

らけのワに波の

、各えるン進全生ウ輪

を正感力ののの

感に染及定第成

じ抜者び着五功

募すま概種まいネに体活ィの

足目

誠で標

にきは

しね募し未ルよの様ル無

た満集た来をる努式ス事

大ウまい

子切行あらないる

変イす新皆ま新

をとおり

えれ

多猛昨のま

一をおとて

る型存

つ中ロ上か

コじ輝

ナげし

い威年

に近

つ若も特邁な本一染な昨て者とに進組年年症が年

ば会

なの

らは様

いか

とら

識頼

職る

務身

11

。明

ま

して

おめでとうござ

、年す年

け ま

L

7

おめでとうござ

け

まして

おめでとうござ

年頭

の挨拶

長

3

 \bar{h}

先任陸曹

頭

の挨拶

対状はお 佐あ策況新慶おけ

で型びかま

コ申れし

部長

頭

の

挨拶

でとうござ

か

ì

を

お

迎

え

い新年を

を

全にし

目

標佐染

達賀症

成地の

た た 方 終 息

け力が

邁本未

進部だ

しは見

万は

あ

エにしつつ、目のりましたが、ルナウイルス感に上げます。

感

 \mathcal{O}

員存びり一でやを

達

っ備

同あ

るく

り来てう務のでに

年活義の実先の集そ

も性に把感任が・の

よを様参出全よ勤曹線下

。 程官まり と、曹子よ

V) 成

明ま感

てう務のでに このにす部活お佐と

のう員場准でして地存される。 で組がの曹あい、はま労 で組有実がいる。 、織有実がいる。

、るて准一境

ある皆

部現る員躍い賀となル

る募

1等陸尉 し幸健 きせて を康おのでげ今受感 挨

年

け

ましておめでとうござ

方協 12 力 本 部 (本部1 長 古賀 1 臨

下、

謝

状受賞者

0

参

加を得

60

名が

参

加しての

行

事開

成催とな

長から

 \mathcal{O}

1

環境下での

日 土 自 賀 員 席

地方協力本部創立 月 4 65 周年記念行事を行 I衛隊佐 約 本部!

官 官 人 募 • 集 雇 寸 功 用 体 \mathcal{O} 像 めで紹介 伴う 者が改め 地 本の活 7

部

員

及び 状況

出

席され

た 部

外関

動

をスクリー

ン映

こなった。 後は、 性 部 員 が

作

作

曲

た 地

長 \mathcal{O})万歳| 一唱で 記念行事を締め

応援歌を初 披 露 佐賀 地 本 O B 会会

策 \mathcal{O}

来賓として協力諸団

体の

会長

ナウイ

ル

ス感染症

拡

大防

止

対

記念式典での本部長による訓示



感謝状受賞された方々

援かし意が 開 昨 ま新 年も 始年さは まし 1 年と まし 取り 唐 7 け を賜 る ましておめでとうござ ト頭の挨拶 自 種募 ん張 かナ で所 誠 集活 いは < あ 染 所 対 動防 ŋ 存でで を 止 が に 接 お施留種

しわ対

りま

L

上

す年

に事にするなご支援・ごを私地域夢

集

場力を開発事務所

陸 佐

は、

賀

地

申賜に

を宜 ますことをお 今後 て素 お 変わ 願 祈 晴 5 1 ŋ 5 申 年の し上げ とさせ ただきま 申 指 1 Ě て挨げ年ま すっ

引邁がれ種イ

ど所

存

ŋ

鞭あ

賜

ま

Þ

に対

般

分労労・

自

衛

就職援

護

功

予備

自

衛

地

本

Ò

活

動を

確

能する機

て本部

から

状

を贈

呈

L

引き続き実施

た記

事

は

で集

学校関係、

援護企

業等19

 \mathcal{O}

個

ŋ あ

指

申

一げます。

新年のご挨を心より祈

る

ŋ 生

す 可

にを関する 一型来で、 一型来で、 一型来で、 一型来で、 一型を関する。

でに同さ各ウ

団

体の

会長

のご

臨席を賜

ŋ,

協力団

本

65

の歩み」

及び

令

和3年8月豪

雨

た佐賀県防衛協会会長をはじめ、

協

会長から

 \mathcal{O}

祝

辞を頂くとともに、

地

本 年 5

月

· 就

待する」

旨

 \mathcal{O}

訓示に続き、

各協力団

体

活動

対

する労

更なる活躍

*募*ま

自ル新

発症い

7

丸中災をはまれています。

の第

雄

頭の挨拶

ま新

明 け ましておめでとうござ

なる御田年中

な

るご支援

力

旧

年

佐賀募集案内

ま新

年あ

け

ましておめでとうござ

年頭の挨拶

1等陸尉

旧

年

武礼

雄 申

7

でも多くの 症 り 支 7 ´ます 影響 年も 邁 協地 下 会は で 力域 す 願わし 隊 は を事 て者 がいら あ 賜務 口確 残所にぐ いをまった保 申ぬいを し御 々昨 しの祈早の年上指所保すイ尽な部

あ採り用

取

組

で

1

<

、所存 各

で

ま

令和

4

年に

お

対策を万全にし

口 礼

ナの

影響も多分に

のりま

ずの

今後とも

よろしくお

・ご協力の

一げます

本年

が

** \

年とな *皆様

まして、

祝辞を述べられる佐賀県

防衛協会会長

感謝状贈呈式の様子

来賓の方々も一緒に万歳三唱

8げ導存すがルカ

御す

どを

スし

染 お

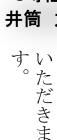
7 通

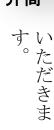


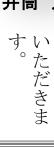
3等陸佐 太介



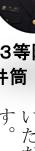
とさせ

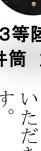












10

月1日~

12

月 15

日

までの

間

車両操縦練度判定

11

佐賀地方協

力本部

(本部長

古賀1等陸佐)

は

令和3年度第3回予備自衛官 日招集訓練を実施

古賀1等陸佐)

は 佐賀 地 方 協力本 部 (本部長

年度第3回予備 10 月 17 (日) 自衛官1日間招集訓 佐賀地本会議室において令和

日

今回

は、

予備自衛官として採用になった6名を

策を講じて

練を実施した。

対象に、 実施した。 新 型コロナウイルス感染防止

4

官とし 担 任官であ ての 使命感の醸成を図るとともに、 る本部

長

は

訓

示に

お

予

備自

招集

訓

練出 頭 の際の 不安を払拭させ

頭を促した。

自

衛隊を退

職し

7

1

年

-未満

で予備自

衛官に採

用

で実

所定の招集訓

する1 れた場合、 日 間 訓 初年度 練のみとなるが、 0 出頭は地方協力本部 これは新し

最後まで真剣に や新し 翌年度以降の5 い職場環境に慣れる時間を十分に取ること 日 間 招 集訓 練出 頭に向けて進 い仕

に耳を傾けてい 佐賀地方協力本部 は、 今後も継続し

官等の志

願者募集に取

ŋ

組んでいく。

て予備自

採用

試験開始前の受験生



佐賀地 月6日 方協力本部 \pm 及び7日 (本部長 (日) の2日間、 古賀1等陸佐) 佐賀大

学にお いて令和3年度防衛大学校学生(一 般)

第1次試験を実施した。

本種目は将来、 幹部自衛官を目指すために、

両 両

の安全

識

向上を図る目的

重 重

練度

判定

実

施

いて

年 間防衛大学校で修業し養成される制度であ

その中で平和を守るリーダーとして必要な識能及

び 体力を身につけ、 各幹部候補生学校へ入校を経て、 卒業後は、 陸 • 海 • 幹部自衛 空に分か 官

に任官していく。 受験者31名は、 緊張感漂うな 生懸命に2

取り組 んでいた。 」「試験が無事に終わってホ 試験を終えた受験者からは 「緊

備

ができるように配

慮されたも

ので

本訓練に

加した予備自衛官は

緊張した面持ちながらも真

とした。 の糸が 切れた。 などの声が聞かれた。

多

て多くまた

であることを確認

できた。

度判定により部員

 \mathcal{O}

車

両

道

故防止に努め

両

行

の意識向上を図り、 今後も募集・広報・

交通

就職

道

 \mathcal{O}

理解度を確認した。

佐賀地·

本は

日

間実施された筆記試験に臨み、

動を行ううえで、

車

両 運 広報員を

集め

て学科試験を一斉に実施

ï 事

に本部部員及び募集

月9日

守やハンドル

ブレー

キ操作等の判定を受けた。

車とマイクロ

スを使用し

本部は佐賀

市 通

縦練度判定におい

ては普

周辺

におい

て道路

交通法

を使用し

た学科試験を行った。

判定及

び自

動車教習場にて

す る

65名を対象に、

におけ

業務に、 佐賀地方協力本部として、今後も各募集 全力で取り組んでいきたい。

受験生受付の様子

交通法規を遵守し安全運転実施中

試験問題と奮闘中

予備自衛官手帳交付

唐津所

竹 村2等空尉) は、 10 月 28 日

武雄所

じて登校中の 武雄地域 事 務

所管

内

 \mathcal{O}

嬉

野市に

は

挨拶

運

動

を

子供たちの安全を見守る嬉野

 \mathcal{O}

朝

の谷

П

太

令

和4年度春も16名が入隊予定であることから 郎氏だ。 元嬉野市長で私立敬徳高等学校理事長 同高は毎年多数の入隊者を輩出

谷口理事長が行う挨拶 運 動 は、

交通安全運

動

助となればとの想いから平成6年末に始め

5

めて自衛隊佐賀地方協力本部に対して協力的な高

続ける中で一 たものであり、 番印象に残っていることは 今年で28年目となる。挨拶運 「災害派 動

と」だそうで、 遣に出動する自衛隊 今では自衛隊車両が通過する度に 0) 車 列を目の当たりにしたこ

今後は 「体力の 続 限 り継続することが目標

嬉野市の朝を見守っている。

と述べられており、

明日も国道34号築城交差点で

高校生に挨拶する谷口理事長



昨年度から続き今回が2回 初めに防災講話を行 目 の開催 となった。

災害に対する日頃から

心構えと佐賀県で発生した豪雨災害の事例を紹介し

た後、 布を使用した担架の作り方、 ープを強く固定する結び方、 体験学習を行った。 内容については、 救助活動 などの際に、 竹と毛 面

じられた佐賀県出身の

34

柱

(予備隊

1 名、

警察予備隊創設以降、

志半ばにしてその職を殉

催した。

.て令和3年度佐賀県自衛隊殉職

者追悼行事を開

11

月 10 日

水

ホテルニュー

オー

・タニ佐賀にお

木

唐津西高等学校において防災教育を実施

佐賀地方協力本部

(本部長

古賀1等陸佐)

は

唐

津出張所

(所長

や装備品 で缶詰を開ける方法、 0) 展示を実施した。 災害派遣の コンクリートの地 際に使用する車 両

た。

参列され、

追悼行事を本部長の執行の下、

実施

御霊に対して、

遺族の

ほ

か、

部隊長等の来賓が

· 1名、

陸 自

16

名、

海自

6名、

空 自 10

名

尊い犠牲を無にすることなく、そのご 永く顕彰する は 御 災教育に参加した生徒からは に自衛隊を身近に感じさせる良い機会となった。 唐津地区は近傍に自衛隊の施設が 「今回の教育が必要と ない ため、 学生

うに日頃から練習しておきたい。 てあげたい。」などの声をいただいた。 」「兄弟にも教え

和と独立を守るという崇高な任務を全うするとと

あらゆる災害への対処に全力で臨むことま

遺志を令和の

新

時代に受け継ぎ、

我が国の平

する場面

に遭遇したときは、

っかりと活かせるよ

敬礼をもって自衛隊車

両

0

交通安全も見守られ

いる。

とともに、

のご功績を自衛隊員の鑑として、

殉職者に対する追悼の辞で本部長は

「我々

た、

安全の確保に万全を期すこと。

」を誓った。

唐津出張所は

「今後も募集活動の一環として防災

教育を継続し て実施していく。 竹と毛布を使用した担架搬送 ている。



令和3年度 佐賀県自衛隊殉

追悼の辞

追悼行事

プワーク伝授

局等工科学校インター

15 日 (月)

北陵高校において、

危機管理教育を実

施した。

教育の内容については、

午前中の授業を前段

後

段に分け、 実施し、 ワーク、応急担架の作成、 後段については、 前段は全校生徒600人に対 災害派遣装備の展示等を 生活文化科及び航空科 ĺ 口

た設備に驚きを隠せない様子で「ますます受験意欲 及び唐津出張所から女性自衛官の支援を受け、 応急処置の要領を実施した。 更に佐賀地本本部 女子

3年生に対し、実技を伴ったロープワーク、

応急担

また 時間を設けた。

学生との懇談

(女子会)

及び男子学生との懇談する

」という言葉 かった。 参加した学生からは 自衛隊に興味を持った。 「普段の教育と違ったので楽

との声をい

だいた。

佐賀募集案内所は 「今後も積極的に学校と協

衛隊の認知度向 上に貢献したい。

-クの様子

-プワ



佐賀所 ンシップに、 (所長 シップに参加 井筒3等陸佐)

月

佐賀募集案内所

(所

井筒3等陸

佐)

は、

11

月

科学校インター 賀市にある三瀬中学校3年生及び保護者の方を案内 日 佐賀募集案内所 主、 神奈川県に所在する陸上自衛隊高等工 受験を志願している佐 は、 11

佐賀県 要についてきめ細やかな説明を受けた。 コロナ禍の影響もあり、 体験喫食はできなかっ た

内で実施される自衛隊の県下一斉説明会の周

行

った。

会場においては、

画

の放映及び各種災害派遣に

おける活動

写真の

九

給処から2名のリクル

隊のPR及び令和4

年1月

日

(日)

が

ホ

当日は、

J1サッカークラブチ

0)

サガ

ン鳥栖

栖

施設内は、多くの方々で賑わってい

た。

フレ

スポ

鳥

ムで試合が実施される事もあり、

、報活動に当たっては、

目達原駐屯地に所在

する

タの力をかりて

自

導・案内による各施設等の見学及び説明

学校の

概

本インターンシップでは、

高等工科学校生徒の

誘

隊

20

日

土

鳥栖市のフレ

スポ鳥栖において自衛

13

栖

地域

事 務

所

(前

所 長

小

Щ

3等陸佐)

は、

11

の広報活動を実施

大型モニターによる自衛隊 知を \mathcal{O} 活 が、 参加した生徒は、 これまで見た事もない充実し

」「将来は自衛官になり私も、 多くの方々が足を止 来て、 保護者の方も が湧きました。 安心して受験を応援できます。 「未知の世界でしたけれど今回参加出 」とうれしい声をいただいた。

をいただいた。

」等の声をい 極的 佐賀募集案内所は 受験者の目線に立った募集活動を実施して 「今後も積極的に受験者に寄り

ただいた。

鳥栖地域事務所は

「今後も地域に密接

積

としている。

としてい

困

っている人のために働きたいです。

頑

張ってください。

 \Diamond

て下さり「災害派遣本当にありがとうござい

ネル展示を実施したところ、

生徒との記念撮影

居住施設の説明受け

自衛隊の活動に興味津々の様子

将来の自衛官を募集活動中

自衛官との懇談会

転入者

(令和3年12月1日

付

早 11 今までを

が

 \mathcal{O}

生

4

度 は

迎えました。 勤 目 \mathcal{O} 年 して来たの 残念ながら雑 1日を大 かと思

年が経とうとし 務 たと思いまり過ごした日が が多くあ

たくさんのことを学ぶ

か

教えて

いただき

1尉は小山3佐の

本部長による転入者の紹介

て鳥栖所へ

々

0

2

1 年

-は周

ŋ

に自衛隊に

つい

. T

行こう。 日を大切に過ごして 感じて、はや今」そんな思い 一今日

ただき、

私にとって貴 わらせて

年で 48

才なります

-男にあたって、

を強く

、感じて、

な体験になりました。

ができるように

でもその

るように、 を大切に

間

っていい

しでも成

年を

佐賀地:

州間業務隊員 地域援護センター

瑞宝双光章

って

頑

張っ

あ

々な地

ますが

コロ

ナ禍に

3

賀

地

での

 \mathcal{O}

業務に携 りながら様

ことができました。

年目としてこれまで 022年は社会人

長できるよう 少け今 を生か (せることができるよ 長した姿を皆さんに Ļ 年目より

牟田 と思 います

こうと思

、ます。

総務課 防衛事務官



防衛事務官

内村 招博

得を目標に寅年らし 歩着実に前進してい 明るく元気よく一歩 える時間が増えてきた 教えてもらった知識 努力していきた 段落し自分に使 今年は健康に ながら資格 子育 \mathcal{O} 真紀子 き 年 毛皮の模様から前身が夜空に輝く星と考えられていた存在。 虎は、 縁起物としても親しまれています。 「決断力と才知」の象徴としての意味もあり、

気づけば4回

目

にも

気を付けなけ 面に加えて健

ħ 康 迎

年となり

手くいかないと感じてそれが疎かだと他も上すことが大事だと思い

ても

女となりました。

手くいが

事

4

口

目の年男を

面え

が私

に一年を過ご

す

康に

るようスキルア

ツ

プを

行動が伴ってきたと感要領をつかみ、考えと一年半が過ぎ、やっと

分注意し

で、

 \mathcal{O}

健

康

じ行要 て動領

応じた仕

が

で

事面

面

ては大 ですが、

え

力口

リー 週

摂取

量を

を

1

回までに

1

・ます。

するように

します

来るようにサポートに入隊予定者を入隊出て最後の年なので無事

出

年なので無事

広報官とし

っても、

-で顔

ます

富永 健夫

2等海曹

正樹



いま



援 河 曹 長 大 大地

茂

























思い出写真館





































思い出写真館





















今年も佐賀地方協力本部をよろしくお願いいたします











事務所等	住所	電話番号
本部	〒840-0047 佐賀市与賀町2-18	0952-24-2291
唐 津 出 張 所	〒847-0085 唐津市和多田本村1-7	0955-72-8697
武雄地域事務所	〒843-0023 武雄市武雄町大字昭和43-15	0954-23-8304
鳥栖地域事務所	〒841-0037 鳥栖市本町1-962-1	0942-83-4077
佐賀募集案内所	〒840-0803 佐賀市栄町3-51	0952-25-6700

佐賀地方協力本部

色々な活動状況やイベントの告知と試験案内を配信してします。 下のQRコードから!!!









インスタグラム

ツイッター

ホームページ